

酒蔵（東酒造株式会社）

1860 年までさかのぼる歴史を持つ東酒造株式会社は中規模の酒蔵で、年間約 5 万 400 リットルの日本酒を製造しています。規模は大きくないながらも評判は非常に高く、7 代目当主の東祐輔氏はその誇り高い伝統を継続することに情熱を傾けています。

酒蔵を代表する銘柄「神泉」は数々の権威ある栄誉を受けており、最高級の「神泉大吟醸」は皇族や総理大臣が公式訪問の際に使用する飛行機の機内でも提供されています。酒蔵が製造できる量には限りがあるため、東酒造株式会社の日本酒は石川県内でのみ販売されています。

酒蔵を成す 12 棟の建物は国の登録有形文化財に指定されています。中心となる 4 つの建物は地元の観音下の凝灰岩で作られており、特に際立った印象を与えます。2019 年、東酒造株式会社は伝統的な石蔵の大幅な改修を完了しました。この石蔵は小規模なイベントやコンサートを開催するために使用され、この酒蔵ならではの建築の魅力をさらに高めています。また、敷地内には数寄屋造りの茶室と庭のある「桂松庵」があり、事前に予約をすれば茶会や四季折々の酒を楽しむ会を手配できます。待合に使われる「緑寿庵」には美しい彫刻がほどこされた櫓の欄間（伝統的な内装に見られる採光と通風を兼ねた装飾）がしつらえられており、入口や室内の板戸はかつての小松城で使用されていたものです。

4 月から 11 月までの期間、こちらも事前の予約が必要ですが、わずか 500 円で酒蔵を見学することができます。見学者それぞれに同額の商品券が提供され、見学ツアー終了後に日本酒を購入する際に使用できます。